

平成 28 年度 学校目標

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒の進路実現に向けた教育課程を編成するとともに基礎学力の定着と発展的な学力の伸長を図る。</p> <p>②多様な学習機会や学習形態を提供し、看護・医療・社会福祉の専門教育の充実と共に将来の職に求められる教養を身につけていく。</p>	<p>①基礎学力の定着と発展的な学力の伸長を図る。</p> <p>②専門的な分野と共に一般教養的な分野への興味を喚起する。</p>	<p>①夏季補習や通常補習の更なる実施や「週末課題」などの実施を行い、学習習慣の定着を図る。</p> <p>①模擬試験の更なる活用を図る。</p> <p>②最新の情報が得られる専門書や一般教養に関する蔵書の充実を目指す。</p> <p>②作文コンクールや専門教科の内容のコンクール等、外部のコンクールへの積極的な応募を促す。</p>	<p>①補習への参加者数と参加することによる生徒の変容を把握できるアンケート内容が開発できたか。</p> <p>①模擬試験を受けることで学習や進路に対する生徒の意識が変化したか。</p> <p>②蔵書の状況と生徒の図書貸し出し数。</p> <p>②コンクール等への応募状況。</p>
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>①生徒情報を共有し、校内の支援体制の充実を図り、教育相談体制を充実させる。</p> <p>②いじめ防止基本方針を実施して校内の安全を保つ。</p>	<p>①外部機関との連携が必要な場合は、速やかに連携を取れる体制を作る。</p> <p>①いじめ防止基本方針を実施する。</p>	<p>①近隣の三ツ境養護学校との交流等、近隣の機関との交流を更に活性化する。</p> <p>②始業式等の場で、いじめに対する学校側の毅然とした姿勢を説明し、周知を図る。</p>	<p>①三ツ境養護学校との交流の回数及び内容。</p> <p>②いじめ事案は防止できたか。</p>
3	進路指導・支援	<p>①看護・医療・社会福祉などのヒューマンサービスに従事する人材を育成する。</p> <p>②「看護の心」「福祉の心」を培う教育活動を推進する。</p>	<p>①進路説明会の内容や時期を検討し、更なる充実を図る。</p> <p>①職員が看護・医療・社会福祉等の資格取得に関する知識を増やし、生徒への指導に活かす。</p> <p>②臨地実習、施設実習の更なる充実を図る。</p>	<p>①希望する進路先の情報を集め、生徒が自分の実力を知るための手段のひとつとして、模擬試験を活用する。</p> <p>②代表生徒による実習の成果発表の場の充実を図り、成果のフィードバックや共有する場となるよう環境を整える。</p> <p>②事前指導を更に丁寧に行い、生徒が自分の将来と実習とを結びつけて考えられるよう、指導する。</p>	<p>①進路決定時に模擬試験のデータを活用できたか。</p> <p>②実習ノート等での生徒の感想文の内容。</p>
4	地域等との協働	<p>①地域の期待に応えられる学校づくりを進める。</p> <p>②地域と連携した防災体制の整備を具体化し、社会参画の意識を高める。</p>	<p>①ボランティア活動をさらに充実させる。</p> <p>②地域と連携した防災活動の実施に向けて努力する。</p>	<p>①ボランティアの情報発信を積極的に行う。</p> <p>②ボランティアの時間数に応じて単位認定になることを周知する。</p> <p>③7県機関との防災研修の充実や地域の自治会の防災訓練との連携の基盤を整える。</p>	<p>①ボランティア活動の回数や延べ人数</p> <p>②防災研修の内容が相互に共有されたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①学校の特色のPRの充実を図る。</p> <p>②情報管理を徹底し、公務処理の情報化を進めると共に、事故・不祥事の根絶を図る。</p>	<p>①学校の特色がよく伝わるHPを作成する。</p> <p>②情報管理を含め、事故・不祥事の根絶を図る。</p>	<p>①HPに載せる原稿作成を効率的に行う体制作り。</p> <p>①HP作成時に、肖像権に配慮する。</p> <p>②職員相互に声を掛け合う雰囲気作りを行う。</p> <p>②事故防止会議で意識喚起に努める。</p>	<p>①HPの更新回数と内容の充実度</p> <p>②情報の管理を含め、事故・不祥事を防ぐことができたか。</p>